

## 2) 普及活動の変革と進化 03

### 福祉領域における 安全運転教育



Hondaは「より多くの人にクルマを操る楽しさを提供したい」「交通社会に参加するすべての人の安全を守りたい」という理念のもと、お身体の不自由な方々の社会復帰に向けた安全な移動手段の確保のために教育の機会を提供しています。さらに、地域における運転復帰プロセス構築の支援として、病棟施設や福祉団体、自動車教習所との連携も進めています。



#### ●運転復帰への可能性を広げる場と機会を創出する

高次脳機能障がいのある方がクルマの運転を通して社会復帰されることへの支援として「リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト（以下、サポートソフト）」や「自操安全運転プログラム（以下、自操プログラム）」の普及拡大に向けて取り組んでいます。四国地域ではサポートソフトを導入する病棟施設同士が連携して、共通の課題解決に取り組んでいます。Hondaも、こうした病棟施設の連携活動に協力することで、地域における運転復帰プロセスの構築を支援しています。自操

プログラムはHondaの交通教育センターで提供していますが、希望者がもっと身近な場所で受講できるようにするため、全国の自動車教習所への普及を図っています。

また、福祉施設へのクルマでの送迎を担う運転者向けの「移送安全運転プログラム」も送迎サービスを提供する団体などに活用していただけるよう、はたらきかけを行っています。岡山県や山形県では、今年度から送迎運転者講習会にこのプログラムを実技として取り入れています。



自動車教習所の教習指導員に「自操安全運転プログラム」のノウハウを提供



山形県内で開催されている施設送迎運転者勉強会では実技演習として「移送安全運転プログラム」が取り入れられている